

地球温暖化対策報告書（その1）

1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあつては名称 及び代表者の氏名)	多摩ニュータウン環境組合 管理者 阿部 裕行
事業者番号	A 0 6 3 5

2 報告する事業所等の全体の状況（2018年度）

条例第8条の23第1項 報告事業所数	0 事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	0 kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	1 事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	269 kl

3 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	2
----------	---

4 事業者としての取組

取組方針	ISO14001			
組織体制の 整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A104	取組状況の点検体制の構築	A101	地球温暖化対策の方針等の設定
	A105	取組内容や点検体制の定期的改善	A102	温暖化対策推進担当の配置
	A108	組織横断的な推進体制の整備	A103	具体的な取組目標と内容の設定
	A114	温暖化対策優良事例の情報収集	A107	排出状況の整理・分析・提供
			A112	温暖化対策提案制度の導入
		A115	優良事例の組織内共有体制の構築	

5 特記事項

<p>地球温暖化対策として、平成17年度から「地球温暖化対策計画書制度」に取り組み、平成22年度東京都より「AA」の評価を得た。また、平成26年度から平成28年度まで長寿命化計画に基づく基幹設備改良工事を実施し、省エネ効果の高い機器への更新を行い、二酸化炭素排出量の削減を図った。平成29年度からは「照明のLED化計画」を作成し、計画的にLEDへの交換を実施していく。令和元年度から令和3年度まで空調設備更新工事を行う。平成30年度からは令和9年度までの10年間「長期修繕計画」に基づき、機器の更新等により効果的な維持管理を実施する。令和元年度「地球温暖化対策実行計画書」の策定を予定している。</p>

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	多摩ニュータウン環境組合										
事業所番号	A	0	6	3	5	-	0	0	0	1	
事業所等の所在地	〒	2	0	6	-	0	0	3	5	区市町村名	多摩市
	町名番地以下	唐木田2-1-1									
事業所等の延床面積	34,380.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満			
所有形態	<input checked="" type="checkbox"/> 自己所有 <input type="checkbox"/> 他者所有										
報告範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 建物の全部 <input type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	<input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食) <input checked="" type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	8	1	6	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (2018年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	269	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	528 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	10 t
	総計(④=②+③)	④	538 t
二酸化炭素排出原単位	⑤	15.3	kg-CO ₂ /m ²
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)			

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	95,297.7	45.00	4,288.4	0.014	213.8	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	446.0	36.70	16.4	0.019	1.1	
	その他(ガソリン)	<input type="checkbox"/>	L	1,259.7	34.60	43.6	0.018	2.9	
	その他(軽油)	<input type="checkbox"/>	L	7,297.0	37.70	275.1	0.019	18.9	
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		<input type="checkbox"/>	kWh	596,970.0	9.76	5,826.4	0.489	291.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0	
合計					⑭	10,449.9		⑮	528.7
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	16,046.0			0.251	4.0	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	15,520.0			0.439	6.8	
合計							⑯	10.8	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置	
	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定	
	A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	
			A206	所内の温室効果ガス排出量を集計	
エネルギー等の使用状況の把握	B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	
	B106	過去のデータによる傾向の把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C123	温湿度の適正管理	C104	採光を利用した消灯の実施
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D106	ボイラ等の定期点検の実施
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D107	ボイラ等の空気比の調整		
設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用	
	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E111	ポンプ・ファンのインバータ制御	
			E135	エレベータのインバータ制御	
		E124	更新に合わせた高効率機器の採用		

実績年度の目標達成の状況

 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有 □ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

【目標値等について】余熱を継続的に供給し、CO₂の削減を図る。